



岡東町  
只野つかさ さん

私のふるさと横浜市は、人口約377万人、18の区からなる街です。10歳までは神奈川県に住み、週末は祖母の家がある羽田に行き、飛行機の発着を見ながら多摩川でのハゼ釣りなどを楽しんでいました。その後移り住んだ瀬谷区は、市内でも自然豊かな地区で、近くの裏山で虫捕りができ、どこか須賀川に似ているようなところでした。

縁があって夫と出会い、結婚を機に須賀川に来て、出産後は子育てサークルや学校関係のつながりができました。子育ては、自分一人ではとても大変です。遠くから嫁いでこられた方には、ぜひサークルなどで知り合いを増やし、楽しみながらゆったりと子育てをして、日々、新しい発見をしながら日常を送ってほしいと思います。夫や義理の両親にも感謝していますが、何より子育てなどを一緒に頑張ってきたママ友に出会えたことが私の財産です。

今は子育てがひと段落し、地域の方への恩返しのため、消防団での活動やボランティアなどにも積極的に参加しており、今後も充実した時間を重ねていきたいと思っています。県外の大学に進学した息子や、これから進学のため県外に出る娘も、きっと須賀川の良さに気づき、将来ふるさとの須賀川を思い出すことでしょう。



神奈川県  
横浜市



サークルとわたし



きもの文化愛好会

代表者 渡辺よし子  
会員 8人  
発足年月 平成21年4月  
連絡先 ☎(73)3622  
活動日 毎月第2・4水曜日  
活動場所 tette、風流のはじめ館

私たち「きもの文化愛好会」は、日本の伝統文化の一つである民族衣装「着物」を自分で着たいという熱い思いから、平成21年4月に着付け教室として始まりました。

指導してくださるのは県内外で40年以上着付けの指導に当たる佐藤悦子先生で、毎年多くの成人の晴れ着や花嫁衣装、十二単の着付けなど広く活躍されております。

活動内容は、着物を自分で着こなすことはもちろん、家族や友人への着付け、その場に合わせた柄選びなどを学んでいます。また、着物を美しく着こなし、積極的に地域交流

に参加したり、着付けの資格取得に挑戦したりする方もいます。

昨今、海外からも注目されている、世界に誇る「着物文化」を大事に守り受け継ぎながら、楽しく活動しています。自分で着物を着てみたい方、参加をお待ちしております。



tette 情報

tetteでは、新型コロナウイルス感染症対策を取りながら、講座などを行っています。参加の際は、感染防止にご協力をお願いします。なお、感染状況によっては、中止または延期になる可能性があります。詳しくは、tetteホームページでご確認ください。



tetteホームページ



TETTE.SUKAGAWA  
tette Instagram

tetteスクールなど

市民交流センター ☎(73)4407

tetteライブラリーシアター

- 3月26日(土)
- ▶午前10時～10時35分 「げんきげんきノンタン～スプーンたんたんたん～」
- ▶午前10時40分～11時50分 「日本の昔ばなし 花さか爺さん ほか」
- ▶午後1時30分～2時5分 「はらぺこあおむし」
- ▶午後2時10分～3時15分 「ダンボ」
- 季節イベント飾り付け「ハッピーイースター」・春休み企画「EGG HUNT」
- 3月下旬(予定)

tette動画を配信中

生活に役立つ情報をはじめ、家族で楽しめる工作や体操などの動画をtette公式Instagramで配信しています。ぜひご覧ください。



スイーツ男子が作る! ホワイトデークッキング!(3月1日配信)

こどもセンターだより

こどもセンター ☎(76)6687

子育て相談会

3月14日(月) 午前10時30分～11時30分  
※事前申込(先着2組)

子育て支援講座「助産師さん相談会」

3月17日(木) 午前10時～11時  
※事前申込(先着5組)

親子イベント

「手作りおもちゃであそぼう」  
3月18日(金)～20日(日)に制作セットを配布  
※事前申込(先着15組)



図書館だより

中央図書館 ☎(75)3309

こども読み聞かせ会(読み聞かせの会ポケット)

3月12日(土)・26日(土)、4月9日(土) 午後2時  
※自由参加(定員20人)

おひざにだっこのおはなし広場(おはなしの会ラ・ポム)

3月16日(水) 午前11時 ※自由参加(定員30人)

ふるさとの遺産

須賀川アルバム No.331  
-昭和の記録写真から-

野良着  
(昭和40年代前半)



それぞれのスタイルで野良着を着こなす女性たち

3月は次第に暖かくなる季節で、この頃から本格的に農作業を行うところも多いでしよう。写真は、春先に撮影したと思われる「野良着」を着た

女性です。野良着とは、農作業などに用いた衣服のこととで、半纏やもんぺなどを着用します。野良着は地域によって呼び方が異なり、半纏を長沼地域ではハンキリ、岩瀬地域ではハンコなどと呼んでいました。また、長沼・岩瀬地域の一部では、腰回りが緩くて動きやすい会津地方に多い「サルツパカマ(猿袴)」というもんぺをはくところもあつたようです。頭の手拭いは、右が「あねさまかぶり」、左が「ほっかむり」というかぶり方です。野良着一つでも、様々な地域性を見ることが出来ます。

博物館 ☎(75)3239